

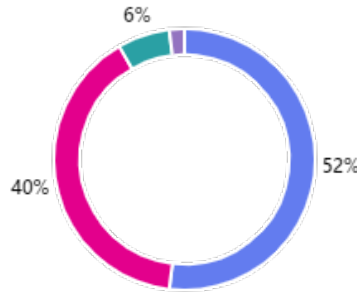
アンケート実施概要

◆ 回答件数

108件

◆ 回答者所属種別

地方公共団体：52%
 民間事業者：40%
 金融機関：6%
 その他：2%



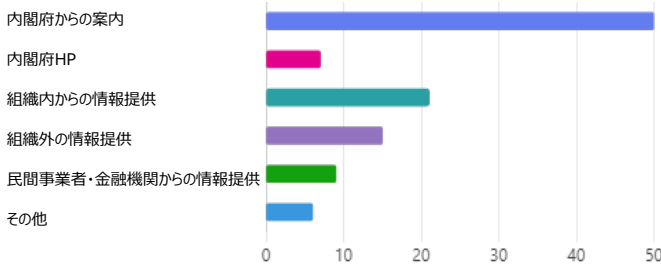
◆ アンケート設問

- Q1：所属情報
- Q2：シンポジウム開催を知った情報源
- Q3：参加の動機
- Q4：PFS/SIBの検討状況
- Q5：関心のある事業分野
- Q6：取り上げてほしいテーマ・内容
- Q7：意識の変化
- Q8：Q7の回答理由
- Q9：意見・感想

アンケート結果

シンポジウム開催を知った情報源 (n=108) ※複数回答可

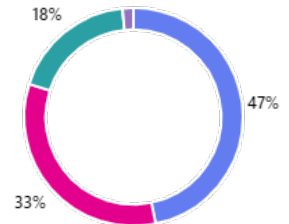
「内閣府からの案内」が最も多く、次いで「組織内からの情報提供」が多い。



参加の動機 (n=108) ※複数回答可

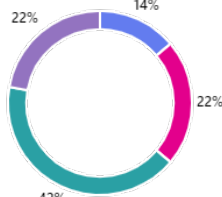
「PFS/SIBの理解、基礎知識習得のため」が最多であり、多くの参加者が理解醸成段階であると考えられる。

- PFS/SIBの理解、基礎知識習得のため：47%
- 具体的な事業に関心があるため：33%
- 首長の発言内容に関心があるため：18%
- その他：2%



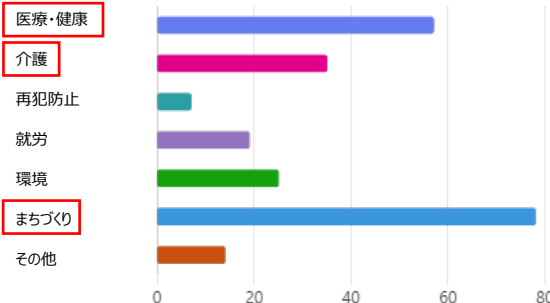
PFS/SIB検討状況 (n=108)

具体案件の無い参加者が多いが、PFS/SIB実施に向けた意向は高い。



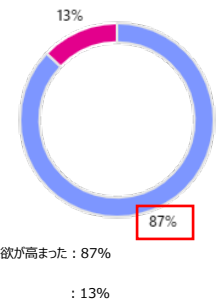
関心のある事業分野 (n=108) ※複数回答可

「まちづくり」への関心が最も高く、比較的先行事例の多い「医療・健康」や「介護」への関心も高い。



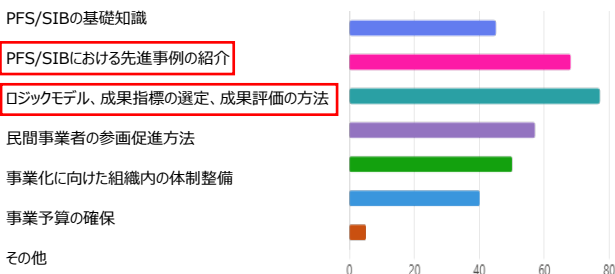
意識の変化 (n=108)

80%以上においてPFS/SIBに対する関心、意欲の変化が生まれている。



取り上げてほしいテーマ・内容 (n=108) ※複数回答可

ロジックモデルや成果指標の選定等の実務に関する意見が多く、次いで「PFS/SIBにおける先進事例の紹介」が多い。



自由記述 (意識変化の理由/全体を通じての意見・感想)

今後も継続的な事例提供や普及啓発を希望するといった要望が多い結果となった。

- ◆ 民間事業者のモチベーションを上げることの大切さを学んだ
- ◆ 自治体の規模はあまり関係なく、課題の明確化と適切なアプローチ及びKPI設定ができれば、導入可能性があると感じた
- ◆ PFSは医療・健康等の検診でのイメージがあったが、前橋市のようなまちづくりでの活用を知り、当市でも活用できないが興味が湧いた
- ◆ 具体的事例のイメージが全くなかったため、参考になった
- ◆ 参加者数や事業分野の拡大を目的と見て、金融機関として顧客の取組支援の必要性を感じた
- ◆ 事前に資料も共有いただき予習をして望め、当日は首長のリアルな言葉として話が伺えてよかった